



# 2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月25日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード: 6298)

<https://www.yac.co.jp>

## ▲ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼン資料で述べる将来の当社に関する見通しは、現時点での情報を元に作成したものです。

当社グループのお客様である半導体等の業界は技術革新のスピードが速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、各業界市況、設備投資の動向は、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

# Contents

## 1. 2021年3月期第2四半期決算概要

…………… 取締役財務統括本部長 畠山 督

## 2. 2021年3月期通期業績予想

…………… 取締役財務統括本部長 畠山 督

## 3. ワイエイシイグループの今後の展望

…………… 代表取締役社長 百瀬 武文

## 4. 質疑応答



# 1. 2021年3月期第2四半期決算概要

…………… 取締役財務統括本部長 畠山 督

## ■ 前年同期比増収・増益となりました。

### <メカトロニクス関連事業>

- ・世界的な経済活動再開の動きにより、弱いながらも回復基調
- ・レーザアニーラ、スマホ向けテーピング装置が好調

### <ディスプレイ関連事業>

- ・中国における経済活動再開に伴い、停滞していた顧客の生産計画が徐々に動き始めた

### <産業機器関連事業>

- ・国内クリーニング市場は営業自粛や在宅勤務化の影響を受けた
- ・中国を中心として展開している海外向けも同様に、厳しい環境

### <電子機器関連事業>

- ・電力会社向け、人工透析装置ともに安定的に推移

# 1-2 事業結果



(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高	11,952	12,230	277	2.3%
営業利益 (営業利益率)	△553 (—)	311 (2.5%)	865	—
経常利益	△622	307	929	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△710	273	983	—
1株当たり 四半期純利益(円)	△78.71	30.16	108.87	—
研究開発費	244	211	△32	△13.4%
設備投資額	112	308	195	174.5%
減価償却実施額	281	282	0	0.2%

# 1-3 事業別売上・利益



(単位:百万円)

		2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	備考
メカトロニクス 関連	売上	4,272	5,132	860	20.1%	パワーデバイス向けレーザー アニーラ、スマートフォン向 けテーピング装置が好調
	利益	78	281	203	257.6%	
ディスプレイ 関連	売上	3,521	3,669	148	4.2%	①中国の経済活動再開 ②前年同期はウェットエッ チング事業を含む
	利益	△566	△87	478	—	
産業機器 関連	売上	947	408	△539	△56.9%	①国内は営業自粛や在宅 勤務化の影響を受ける ②中国も同様
	利益	△13	△78	△64	—	
電子機器 関連	売上	3,211	3,019	△191	△6.0%	電力会社向け及び人工透 析装置が安定的に推移
	利益	△98	79	177	—	
HDその他	利益	46	116	70	151.5%	
合計	売上	11,952	12,230	277	2.3%	
	利益	△553	311	865	—	



# 1-4 事業別受注額・受注残 (連結ベース)



(単位:百万円)

		2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
メカトロニクス 関連	受注額	4,790	4,130	△660	△13.8%
	受注残	3,760	2,716	△1,044	△27.8%
ディスプレイ 関連	受注額	750	1,575	825	110.1%
	受注残	5,061	6,083	1,022	20.2%
産業機器 関連	受注額	1,002	345	△656	△65.5%
	受注残	121	93	△27	△22.8%
電子機器 関連	受注額	4,417	3,772	△645	△14.6%
	受注残	2,478	5,606	3,128	126.2%
合計	受注額	10,960	9,824	△1,136	△10.4%
	受注残	11,422	14,500	3,078	27.0%



# 1-5 貸借対照表のレビュー



## <資産>

(単位:百万円)

	2020年3月	2020年9月	増減額	備考
現預金	6,531	9,116	2,585	借入金増加
売上債権	12,469	11,098	△1,371	売掛金の回収進む
棚卸資産	10,838	10,257	△581	
その他流動資産	711	486	△225	
固定資産	8,583	8,553	△29	
資産合計	39,135	39,511	376	

## <負債・純資産>

(単位:百万円)

	2020年3月	2020年9月	増減額	備考
仕入債務	5,754	4,517	△1,237	
その他流動負債	11,692	14,492	2,800	短期借入金増加
固定負債	7,623	6,246	△1,377	長期借入金の返済
純資産	14,065	14,255	190	
負債・純資産合計	39,135	39,511	376	

# 1-6 キャッシュフローのレビュー



(単位: 百万円)

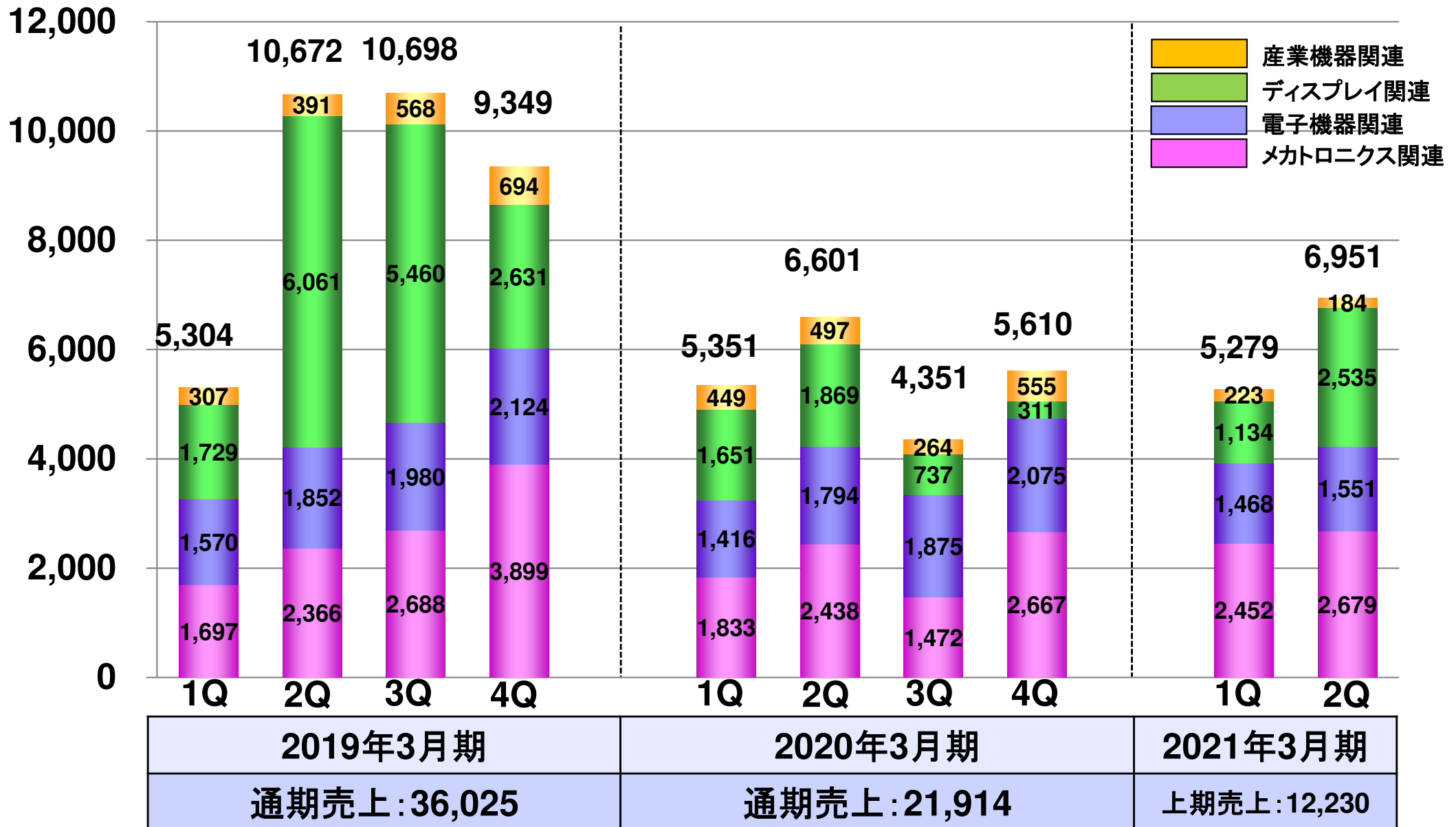
	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	主な増減要因	
営業活動によるC/F	△2,652	1,543	増加	売上債権の減少
			減少	仕入債務の減少
投資活動によるC/F	44	△166	増加	
			減少	
財務活動によるC/F	1,188	1,210	増加	短期借入金の純増
			減少	長期借入金の返済
現金及び現金同等物の 期末残高	6,450	9,038	前年度末比2,588百万円増加	

# 1-7 事業別四半期毎 売上高



売上高

(単位:百万円)

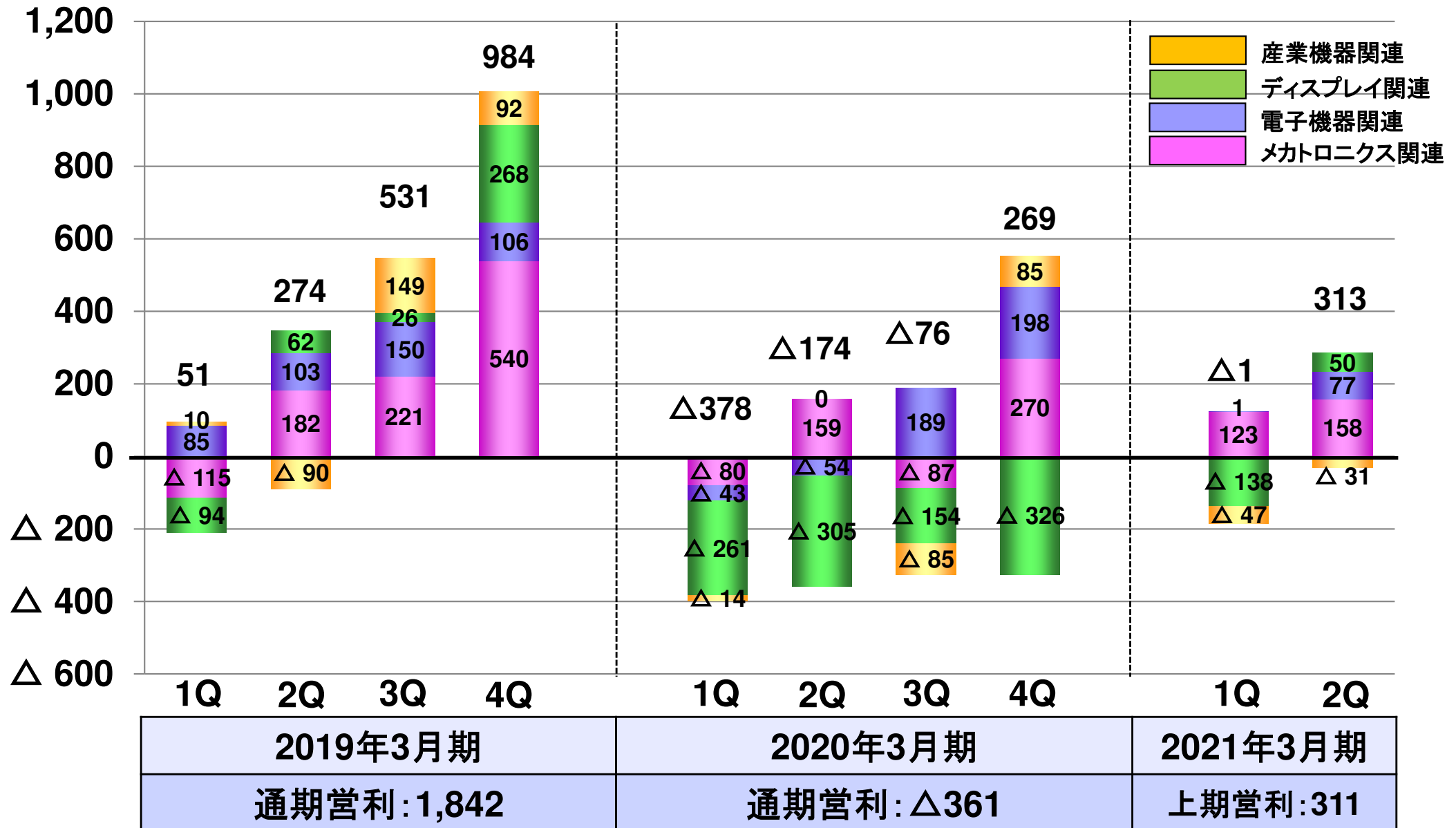


# 1-8 事業別四半期毎 営業利益



営業利益

(単位:百万円)





## 2. 2021年3月期通期業績予想

…………… 取締役財務統括本部長 畠山 督

# 2-1 2021年3月期事業計画

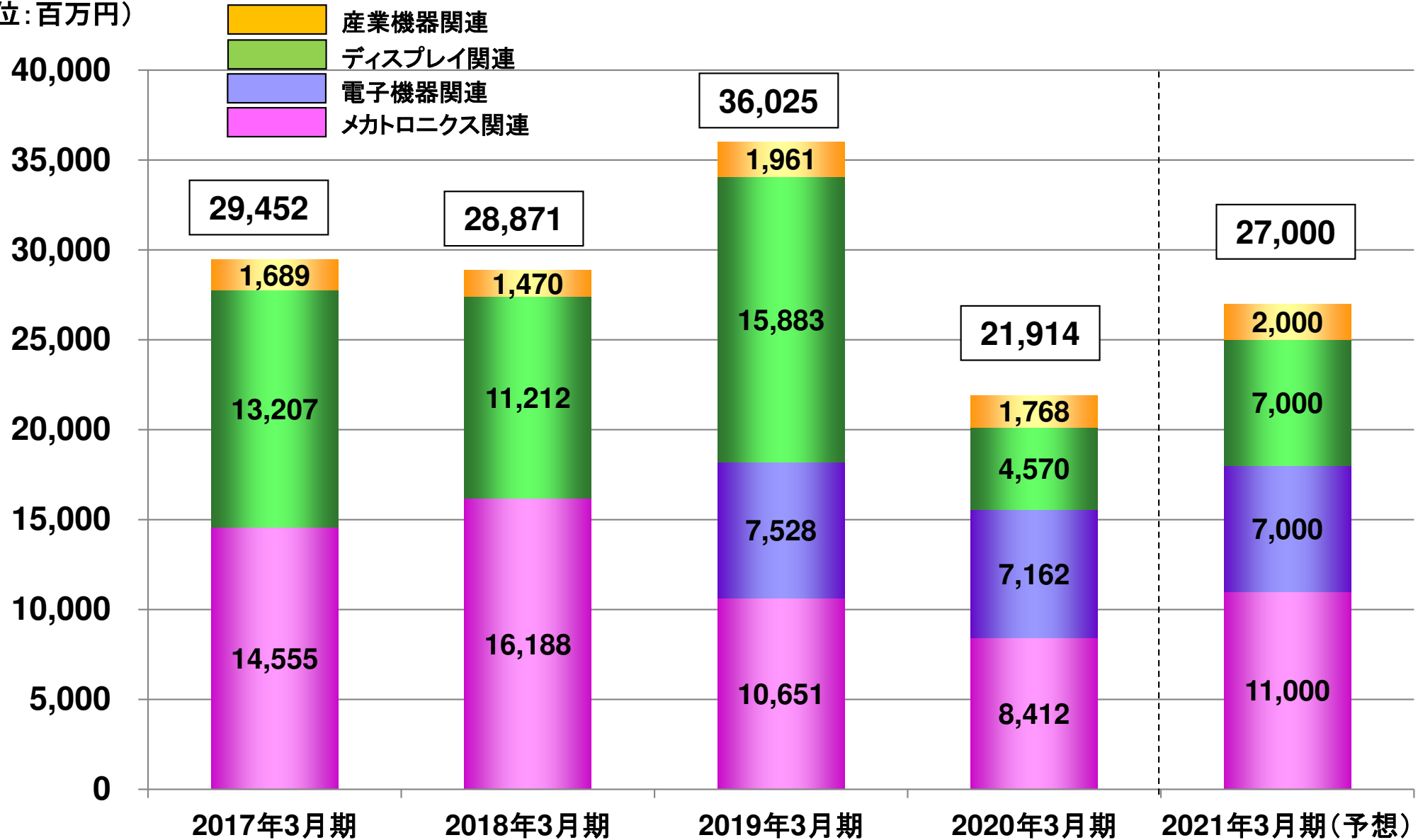


(単位:百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (見込)	前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (見込)
売上高	28,871	36,025	21,914	27,000	5,085	23.2%
営業利益	1,074	1,842	△361	800	1,161	—
経常利益	955	1,852	△443	700	1,143	—
当期純利益	403	1,094	△958	500	1,458	—
1株当たり 当期純利益(円)	45.13	121.68	△106.08	55.36		

# 2-2 事業別実績及び見通し【売上高】

(単位:百万円)



※ 2018年3月期以前は「メカトロニクス」「ディスプレイ」「クリーニングその他」の3セグメントによる実績

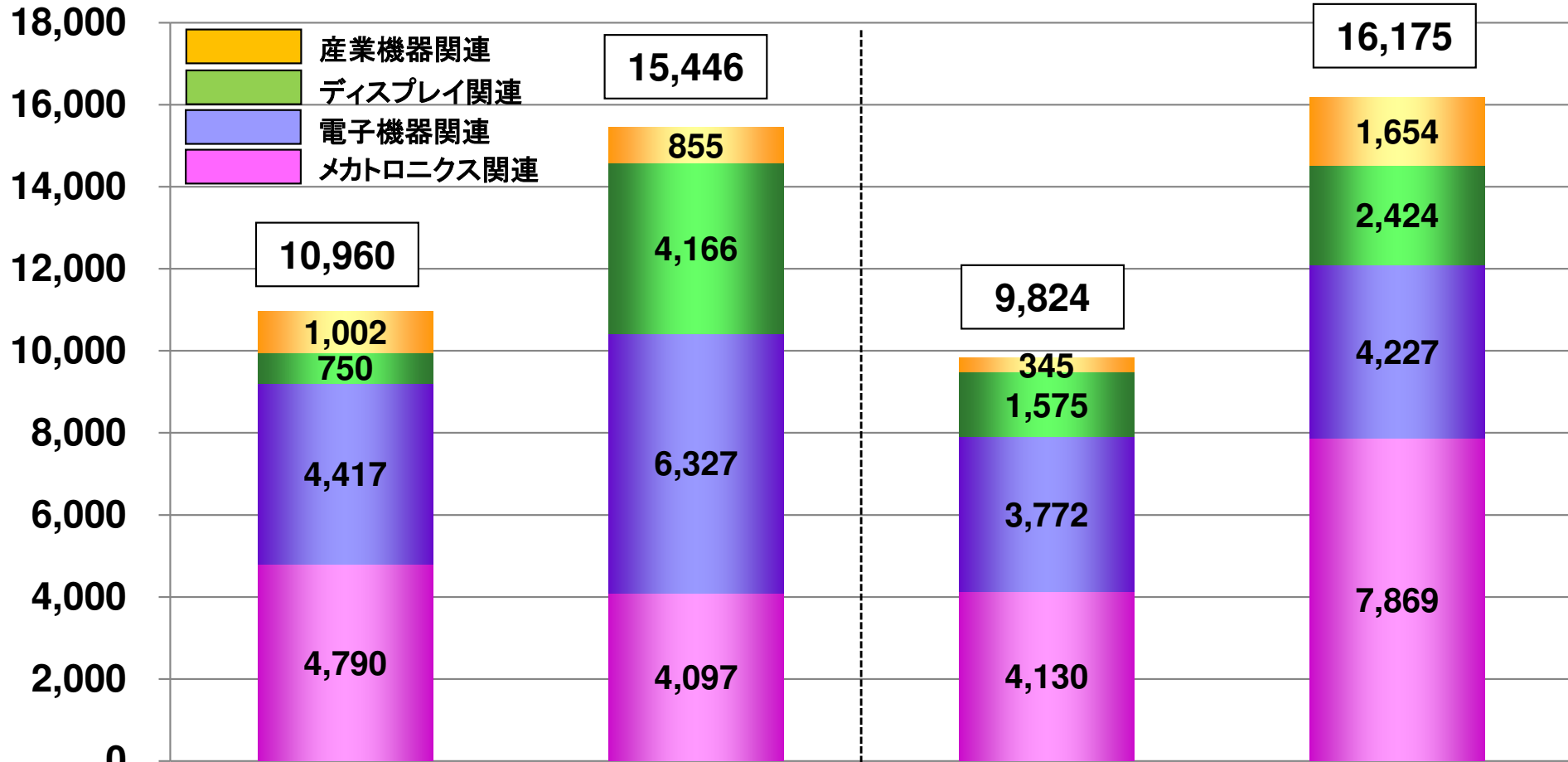


# 2-3 事業別実績及び見通し【受注】



(連結ベース)

(単位:百万円)

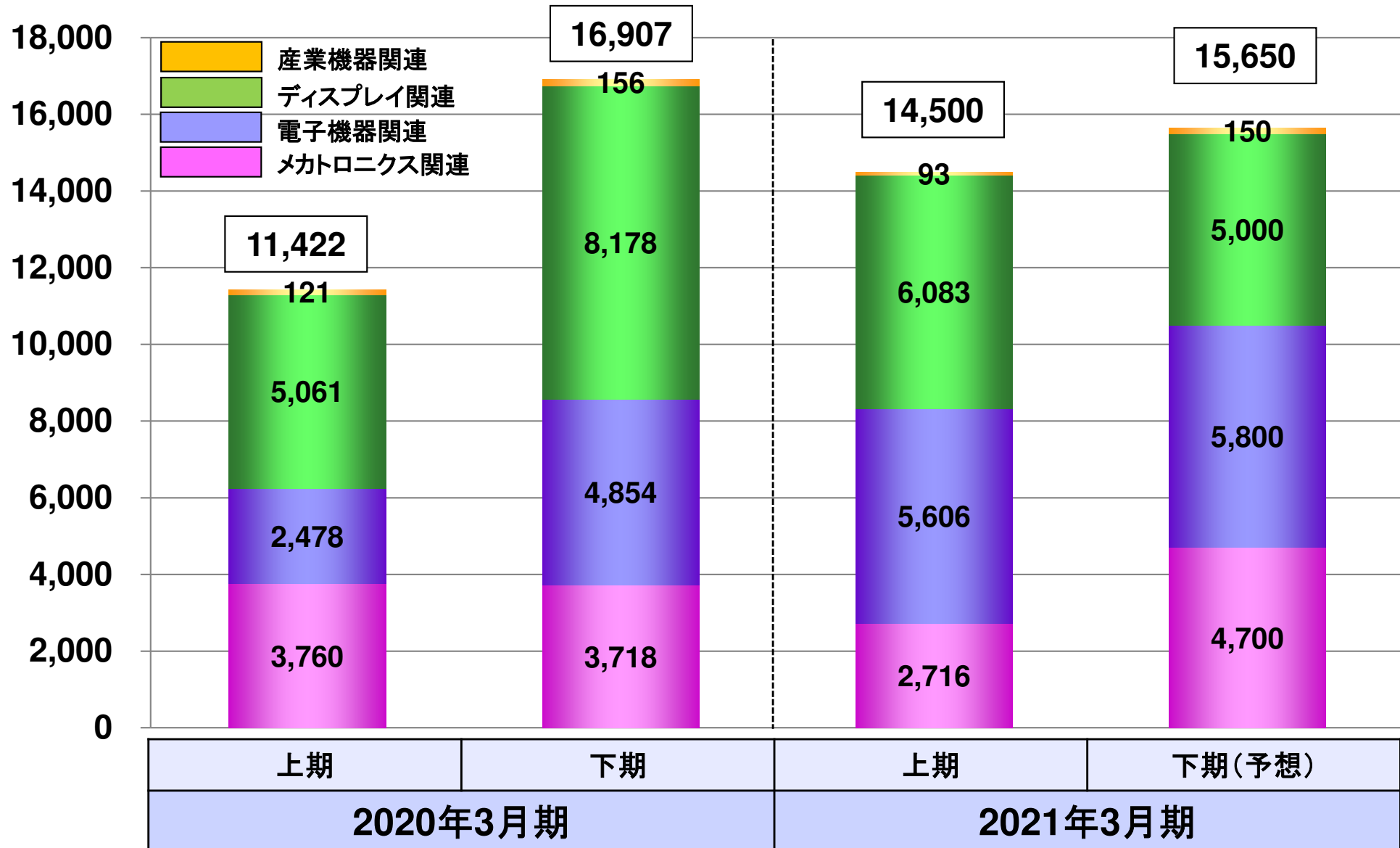


上期	下期	上期	下期(予想)
2020年3月期		2021年3月期	
通期受注高 26,407百万円(実績)		通期受注高 26,000百万円(予想)	

# 2-4 事業別実績及び見通し 【受注残】

(単位:百万円)

(連結ベース)





# 3. ワイエイシイグループの今後の展望

..... 代表取締役社長 百瀬 武文

# 3-1 企業理念



## 【創業理念】

(1973年)

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

## 【成長理念】

(1985年)

1. 社員の豊かさを追求する（経済的・精神的）
2. 国・地方自治体に、より多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

## 【究極の理念】

(2020年)

～より多く社会に貢献するために～

1. 社員・グループの成長
2. 全員経営・連携と競争
3. SDGs経営の推進
4. 納税額の拡大

## ■「究極の理念」実現への基本戦略

### 1. 企業規模の拡大

- (1) 量産新製品の早期事業化
- (2) 既存製品のシェアUP、  
消耗品・サービスの拡大
- (3) M&A・アライアンスの推進

### 2. 企業体質の向上

- (1) 高収益体質の確立
  - ①粗利率UP
  - ②既存事業・技術の横展開
- (2) 財務体質の強化
  - ①売掛金の早期回収
  - ②資本金の増強
  - ③キャッシュフローの健全化

### 3. グループガバナンスの強化

- (1) 中長期戦略経営
- (2) 全員経営・連携と競争

### 4. SDGs経営の推進

「より多く社会に貢献する」企業理念を実現するため、常に10年後のビジョンを掲げ、早期売上1,000億円の達成を目指して、全員経営により、効率の良い経営を進めてまいります。

# 3-3 市場環境



## 1. 5G・車載関連の需要拡大

用途	製品	関連セグメント
①スマートフォン用OLED	エッチング装置・アニール装置	ディスプレイ
②電子部品・ディスクリート	選別機・テーピング機・キャリアテープ	メカトロニクス
③パワー半導体 (Si-IGBT、SiC)	レーザアニール装置	メカトロニクス
④MEMSセンサー	イオンミリング装置	メカトロニクス
⑤高速通信デバイス	セラミックパッケージ切断機	メカトロニクス
⑥データセンター	HDDバーニッシュ装置	メカトロニクス

## 2. 医療・環境関連の需要拡大

①医療機関、個人向け	人工透析装置	電子機器
②ウィルス対策、脱臭	空気清浄機	メカトロニクス
③薬物検出、美容等	毛髪縦断スライス装置	メカトロニクス

## 3. 中国市場の拡大

①ホームクリーニング・リネン	各種仕上げ機	産業機器
②中国合弁会社を通じて、当社グループのオリジナル製品各種を中国に展開		全セグメント

## 4. IoT市場の拡大

①電力会社	監視・保守業務の自動化装置	電子機器
②予防保全	各種自動化装置	全セグメント

## 1. 創立50周年最高益への挑戦

当社は2023年5月に創立50周年を迎えます。  
2023年3月期決算で最高益を達成し、社員をはじめ  
ステークホルダーの方々と共に喜び合い、感激し合い、  
讃え合い、拍手喝采の中で、この記念すべき日を迎えたい。  
そのために、全員経営で総力を結集して挑戦し、勝利を  
勝ち取ります。

(1) 2021年3月期	.....	ホップ
(2) 2022年3月期	.....	ステップ
(3) 2023年3月期	.....	ジャンプ



## 2. 最高益を得るための基本戦略

(1) グループ各社の「連携と競争」と  
6C(6つのキャンペーン)による底上げ

(2) M&A・アライアンスの推進

(3) 企業理念である「全員経営」で進める

## 3. 最高益を得るために

(1) 6つのキャンペーン(6C)の計画と、  
達成するための戦略の策定

(2) 進捗状況を定期的に厳しくチェックし、改善する

(3) 6Cとは

①受注

②売上

③粗利率

④量産新製品

⑤売掛金回収

⑥連携と競争

特に受注、粗利率、  
量産新製品に注力する



さあ今日も、

ときめきと感動の日々であれ！

数字の処理について

記載されている金額は百万円未満を切り捨て、その比率については小数第2位を四捨五入しています。

しなやか先端技術企業集団  
ワイエイシーグループ